


記載例 現認書（一般災害の場合）

現 認 書
 事 実 証 明 書

1 被災職員の関する事項	職 種 ・ 氏 名	一般技能 新宿二郎 (男・女)		
	災 害 発 生 の 日 時	平成29年5月10日(水) 午 ^前 10時50分ごろ 後		
	災 害 発 生 の 場 所	〇〇区 〇〇3-15 集積所		
2 災害発生状況	<p>午前10時50分頃、私は新宿二郎主事と二人で可燃ごみ収集作業に従事していました。新宿さんが収集車の前でごみ袋を持ち上げたとき、足下の油で滑ってバランスを崩しているのを見ました。その場にうずくまっていたので、「大丈夫ですか」と声をかけたところ、新宿さんは「腰を痛めてしまった」と言っていました。</p>			
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>注1：現認者が、いつ、どこで、何をしていたときに、被災職員に何が起き、どのような結果が生じたか(5W1H)、現認者が被災職員の災害発生について目撃した状況をできるだけ詳細に記入してください。</p> <p>注2：事実証明書の記載例はP.2~3を参照してください。</p> </div>			
	3 現認職員又は事実証明職員	<p>1及び2については、上記のとおりであることを 現認しました。 証明します。</p> <p style="text-align: center;">平成29年6月14日</p> <p style="text-align: center;">所属・職・氏名 〇〇区〇〇部〇〇清掃事務所 主事 中野一郎</p> <div style="text-align: right;"></div>		

原則として、「現認書」は現認した所属職員が作成すること。現認者がなく、災害発生の際の連絡があったときは、「事実証明書」として、連絡を受けた職員が聞き取った内容を記載して証明すること。

記載例 事実証明書（通勤災害の場合）

現 認 書
 事 実 証 明 書

1 被 災 関 連 職 員 に 関 する 事 項	職 種 ・ 氏 名	一般事務 新宿三郎 (男・女)		
	災 害 発 生 の 日 時	平成 29 年 8 月 4 日 (金) 午 前 6 時 00 分 ごろ ⑥		
	災 害 発 生 の 場 所	〇〇市〇〇2-3-4先交差点		
2 災 害 発 生 の 状 況	平成29年8月8日(火)午前8時15分頃、本人より電話があり、先週金曜日(4日)の午後6時00分頃自転車で帰宅途中、〇〇市〇〇2-3-4付近の横断歩道を自転車を押し、負傷したとの報告を受けた。			
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>注1：被災職員から、いつ、どのような方法で、<u>被災職員に、いつ、どこで、何が起き、どのような結果が生じたとの連絡（報告）を受けたか</u>をできるだけ詳細に記入してください。</p> <p>2度に分けて報告を聞いたときは、その日時ごとに記載してください。</p> <p>注2：現認書の記載例はP.1を参照してください。</p> </div>			
	3 現 認 職 員 又 は 事 実 証 明 職 員	1及び2については、上記のとおりであることを 現認しました。 証明します。		
平成 29 年 8 月 30 日				
所 属 ・ 職 ・ 氏 名	〇〇部〇〇課〇〇係 係長 〇〇〇〇	⑦		

原則として、「現認書」は現認した所属職員が作成すること。現認者がなく、災害発生の連絡があったときは、「事実証明書」として、連絡を受けた職員が聞き取った内容を記載して証明すること。

記載例 事実証明書（再発の場合）

現 認 書
 事 実 証 明 書

1 被 災 関 係 職 員 に 関 する 事 項	職 種 ・ 氏 名	主事(保健師) 江戸 桜 (男 ・ 女)
	災 害 発 生 の 日 時	平成 29 年 1 月 5 日 (木) 午 ^前 10 時 30 分 ごろ 後
	災 害 発 生 の 場 所	東京都〇〇区〇〇3-4-5 〇〇保健所2階階段
2 災 害 発 生 の 状 況	平成29年1月5日(木)執務中に階段にて転倒し、左脛骨を骨折した。即日入院し、骨折部を(金属)ボルトで接合する手術を受け、療養した結果、平成29年5月26日(金)に治癒した。	
	今回は、骨折部癒合により、接合していた金属(ボルト)の除去術を行うとのことを、本人の申出及び診断により確認した。	
3 現 認 職 員 又 は 事 実 証 明 職 員	<p>1 及び 2 については、上記のとおりであることを <u>現認しました。</u> <u>証明します。</u></p> <p>平成 29 年 11 月 17 日</p> <p>所属・職・氏名 〇〇課〇〇係 係長 〇〇〇〇</p>	

原則として、「現認書」は現認した所属職員が作成すること。現認者がなく、災害発生の連絡があったときは、「事実証明書」として、連絡を受けた職員が聞き取った内容を記載して証明すること。